
2018年 3月期 決算説明会 資料

2018年 5月23日

東亜建設工業株式会社

【目次】

- 1-1). 2018年 3月期 決算結果
- 1-2). 事業分野別 受注実績(単体)
- 1-3). 事業分野別 売上高・損益実績(単体)
- 2-1). 2019年 3月期 業績見通し
- 2-2). 事業分野別 受注見通し(単体)
- 2-3). 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)
- 3. 2018年 3月期 主な完成工事
- 4. 2018年 3月期 主な受注工事
- 5. 最近のトピックス

1-1) 2018年 3月期 決算結果

(単位: 億円、%)	2017年3月期		2018年3月期				対前期増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高		1,309			1,462	11.7%		153
売上高	1,672	1,591	1,610	△ 3.7%	1,523	△ 4.3%	△ 61	△ 68
売上総利益	162	147	130	△ 19.7%	116	△ 21.2%	△ 31	△ 31
売上総利益率	9.7%	9.3%	8.1%		7.6%		△ 1.6	△ 1.7
一般管理費	100	90	101	1.2%	91	1.4%	1	1
一般管理比率	6.0%	5.7%	6.3%		6.0%		0.3	0.3
営業利益	61	57	28	△ 53.5%	24	△ 56.8%	△ 33	△ 32
営業外収益	3	3	3	14.7%	3	14.1%	0	0
営業外費用	6	4	5	△ 13.6%	4	△ 4.0%	△ 0	△ 0
経常利益	58	55	27	△ 54.0%	23	△ 57.3%	△ 31	△ 31
特別利益	0	0	0	1.8%	0	△ 19.1%	0	△ 0
特別損失	159	159	2	△ 98.5%	1	△ 99.0%	△ 157	△ 158
税引前利益	△ 100	△ 103	25	-	22	-	125	126
当期純利益	△ 74	△ 74	17	-	17	-	91	92

※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

純資産	-	580	-		602	3.7%	-	21
ROE	-	△ 12.2	-		2.9		-	-

■ 業績数値

- 受注（東亜単体 1,462億円）
- 売上高（連結 1,610億円、単体 1,523億円）
 - ・ 東亜単体の売上高減少により、連結売上高も減少。
- 売上総利益
 - ・ 東亜単体の工事利益の減少により、前期比で減少。
- 販売費及び一般管理費
 - ・ 連結・単体とも、前期並み。
- 当期純利益（連結 17.5億円、単体 17.2億円）
 - ・ 前期に計上した施工不良関連損失の影響がなくなり、連結・単体とも、前期比で増加。

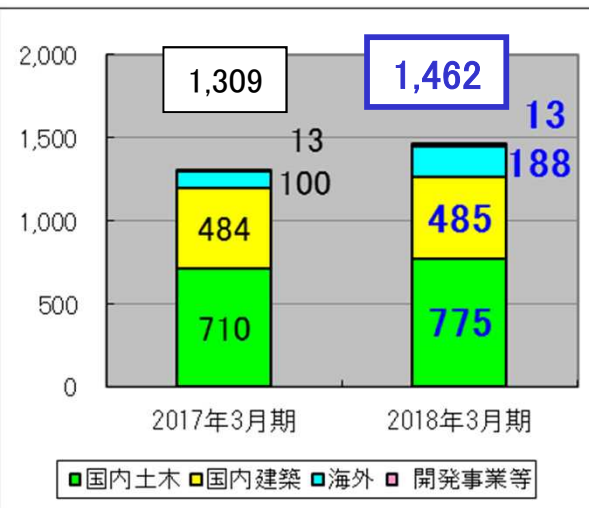
■ 財務数値

- 純資産（単体 602億円）
 - ※中期経営計画の目標値【参考】
（2019年度までに 単体で650億円）
- ROE（単体 2.9%）
 - ※中期経営計画の目標値【参考】
（2019年度までに 単体で5.0%）

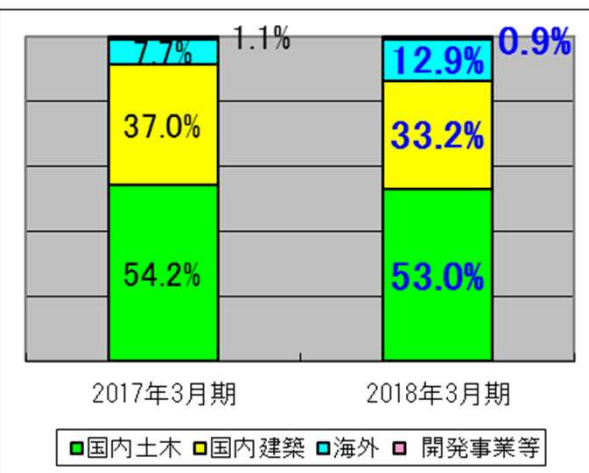
1-2) 事業分野別 受注実績 (単体)

受注高 (単位:億円)		2017年 3月期 実績	2018年3月期	
			実績	前期比
国内土木	官庁	525	524	△0.2%
	民間	184	250	35.8%
	計	710	775	9.1%
国内建築	官庁	22	25	11.8%
	民間	461	460	△0.3%
	計	484	485	0.2%
国内計		1,194	1,260	5.5%
海外	土木	80	171	112.2%
	建築	19	17	△12.9%
	計	100	188	87.8%
建設事業計		1,295	1,449	11.9%
開発事業等		13	13	△3.7%
合 計		1,309	1,462	11.7%

■受注 実績比較(受注額)単位:億円



■受注 実績比較(シェア)



□ 受注高 (1,462億円、前期比 11.7%)

・目標値 1,880億円。

■ 国内土木 (775億円、前期比 9.1%)

- ・官庁土木は、期首に不祥事による指名停止の影響が残り、前期並み。
- ・民間土木は、エネルギー関係の受注が相次いだことにより、前期比では大幅増。

■ 国内建築 (485億円、前期比 0.2%)

- ・官庁建築は、給食センター・防衛省案件などを受注するも、前期並み。
- ・民間建築は、得意の冷蔵倉庫・住宅に加え宿泊施設などで受注を重ねる。

■ 海外 (188億円、前期比 87.8%)

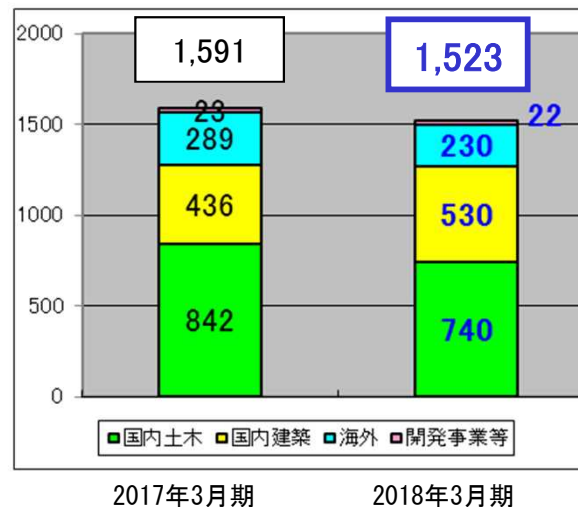
- ・前期比増となるも、大型案件の失注や発注時期がずれ込んだ工事もあり、期首目標値には未達。

1-3) 事業分野別 売上高・損益実績（単体）

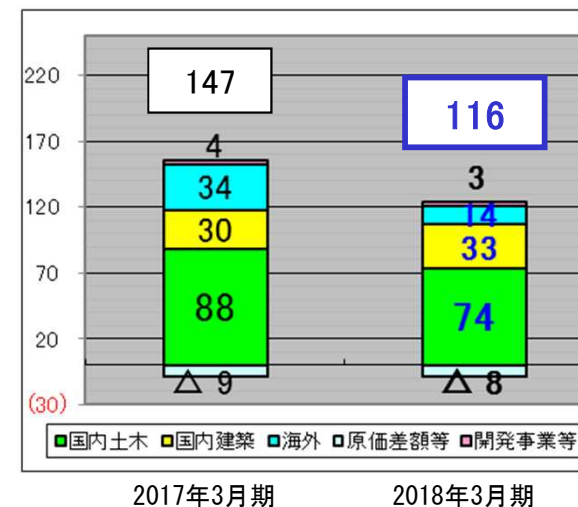
売上高 (単位: 億円)	2017年 3月期	2018年3月期	
	実績	実績	前期比
国内土木	842	740	△12.2%
国内建築	436	530	21.4%
国内計	1,279	1,270	△0.7%
海外計	289	230	△20.4%
海外土木	233	194	△16.5%
海外建築	55	35	△36.5%
建設事業計	1,568	1,500	△4.3%
開発事業等	23	22	△3.5%
合計	1,591	1,523	△4.3%

売上損益 利益率 (単位: 上段-億円、 下段-%・ポイント)	2017年 3月期	2018年3月期	
	実績	実績	前期比
国内土木	88 10.5%	74 10.0%	△16.4% △ 0.5
国内建築	30 6.9%	33 6.2%	10.1% △ 0.7
国内計	118 9.3%	107 8.4%	△9.7% △ 0.9
海外	34 11.8%	14 6.2%	△57.9% △ 5.6
原価差額等	△ 9	△ 8	
建設事業計	143 9.1%	112 7.5%	△21.4% △ 1.6
開発事業等	4 18.1%	3 16.3%	△12.9% △ 1.8
合計	147 9.3%	116 7.6%	△21.2% △ 1.7

■ 売上高 実績比較 単位: 億円



■ 売上損益 実績比較 単位: 億円



□ 売上高 (1,523億円、前期比 △4.3%)

■ 国内土木 (740億円、前期比 △12.2%)

・受注伸び悩みの影響により、減少。

■ 国内建築 (530億円、前期比 21.4%)

・手持ち工事の順調な進捗により、前期比増。

■ 海外 (230億円、前期比 △20.4%)

・受注減に伴う手持ち工事の減少により、前期比では減少。

□ 売上損益 (116億円、前期比 △21.2%)

■ 国内土木 (74億円、前期比 △16.4%)

・売上高及び利益率の低下に伴い、減少。

■ 国内建築 (33億円、前期比 10.1%)

・利益率は低下するも、売上高の増加に伴い、増益。

■ 海外 (14億円、前期比 △57.9%)

・売上高の減少に加え、利益率の大幅な低下により、大幅減。

2-1) 2019年 3月期 業績見通し

(単位: 億円、%)	2018年3月期		2019年3月期				対前期比増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注		1,462			1,700	16.2%		237
売上高	1,610	1,523	1,700	5.6%	1,660	9.0%	89	136
売上総利益	130	116	139	6.8%	124	6.5%	8	7
売上総利益率	8.1%	7.6%	8.2%		7.5%		0.1	△ 0.1
一般管理費	101	91	102	0.6%	93	1.4%	0	1
一般管理比率	6.3%	6.0%	6.0%		5.6%		△ 0.3	△ 0.4
営業利益	28	24	37	28.5%	31	25.7%	8	6
営業外収益	3	3	3	△ 1.7%	3	△ 1.7%	△ 0	△ 0
営業外費用	5	4	6	23.6%	5	21.2%	1	1
経常利益	27	23	34	25.3%	29	22.2%	6	5
特別利益	0	0	0	△ 38.5%	0	△ 11.3%	△ 0	△ 0
特別損失	2	1	1	△ 37.1%	1	△ 6.3%	△ 0	△ 0
税引前利益	25	22	33	29.1%	28	23.4%	7	5
当期純利益	17	17	20	14.3%	17	△ 1.3%	2	△ 0

※連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

純資産	-	602	-	2019年度迄に650億円		
ROE	-	2.9	-	2019年度迄に5%		

■業績数値

- 受注（東亜単体 1,700億円）
- 売上高（連結1,700億円、単体1,660億円）
単体の受注増加に伴い、連結・単体とも増収。
- 売上総利益
売上高の増加に伴い増益。
- 販売費及び一般管理費
連結・単体とも前期並み。
- 営業利益、経常利益
営業利益、経常利益ともに売上総利益の増加を受け増益。
- 当期純利益
連結で増益、単体で微減。

■財務数値

- 純資産
2019年度迄に単体で650億円。
- ROE
2019年度迄に単体で5%。

2-2) 事業分野別 受注見通し(単体)

受 注		2018年 3月期	2019年3月期	
(単位:億円)		実績	見通し	前期比
国内土木	官庁	524	580	10.6%
	民間	250	203	△19.0%
	計	775	783	1.0%
国内建築	官庁	25	0	-
	民間	460	507	10.2%
	計	485	507	4.4%
国内計		1,260	1,290	2.3%
海外	土木	171	397	131.1%
	建築	17	3	△82.5%
	計	188	400	111.8%
土木		946	1,180	24.6%
建築		502	510	1.5%
建設事業計		1,449	1,690	16.6%
開発事業等		13	10	△25.6%
合 計		1,462	1,700	16.2%

□受注高 (1,700億円、前期比 16.2%)

■国内土木

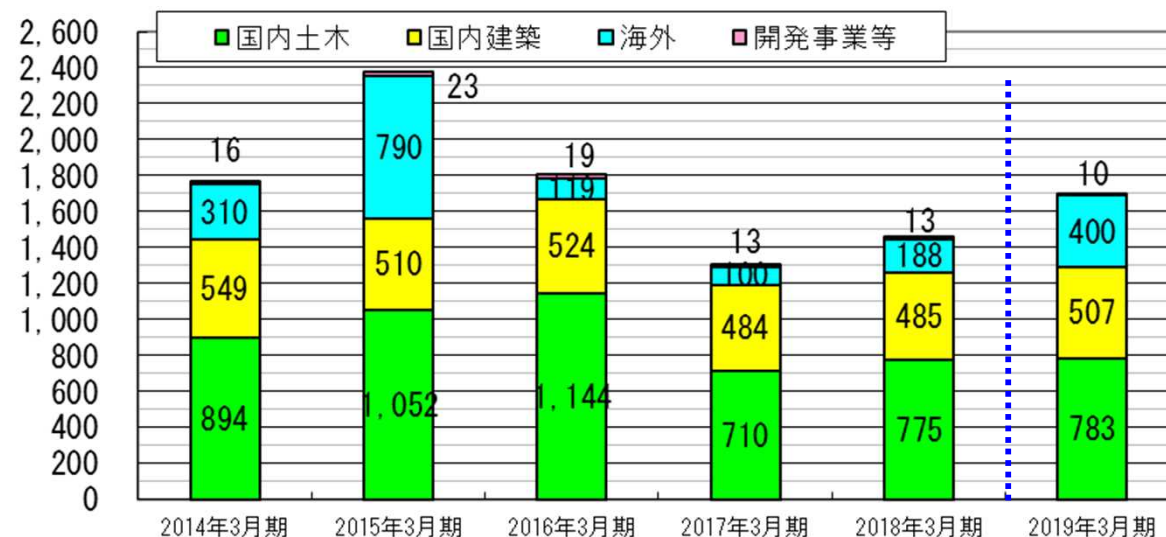
- ・官庁土木は、引き続き、総合評価落札方式の対応強化を図る。
(特に大型港湾プロジェクトに注力)
- ・民間土木は、火力発電所関連、再生可能エネルギー、鉄道などにも注力。

■国内建築

- ・官庁建築は、収益性や要員を念頭に、案件を選別して取り組む。
- ・民間建築は、設計施工案件・特命案件・企画提案案件に注力。

■海外

- ・引き続き、東南アジア(シンガポール等)・中東・アフリカの
港湾施設、火力発電所、冷凍冷蔵倉庫などに注力。



2-3) 事業分野別 売上高・損益見通し(単体)

売上高	2018年 3月期	2019年3月期	
(単位: 億円)	実績	見通し	前期比
国内土木	740	850	14.8%
国内建築	530	530	△0.0%
国内計	1,270	1,380	8.6%
海外計	230	260	12.9%
土木	935	1,083	15.8%
建築	565	557	△1.5%
建設事業計	1,500	1,640	9.3%
開発事業等	22	20	△10.4%
合計	1,523	1,660	9.0%

売上損益 利益率	2018年 3月期	2019年3月期	
(単位: 上段-億円、 下段-%、ポイント)	実績	見通し	前期比 増減
国内土木	74 10.0%	80 9.4%	7.9% △ 0.6
国内建築	33 6.2%	30 5.7%	△9.3% △ 0.5
国内計	107 8.4%	110 8.0%	2.6% △ 0.4
海外	14 6.2%	14 5.4%	△2.6% △ 0.8
原価差額等	△ 8	△ 6	
建設事業計	112 7.5%	118 7.2%	4.6% △ 0.3
開発事業等	3 16.3%	6 30.0%	64.9% 13.7
合計	116 7.6%	124 7.5%	6.5% △ 0.1

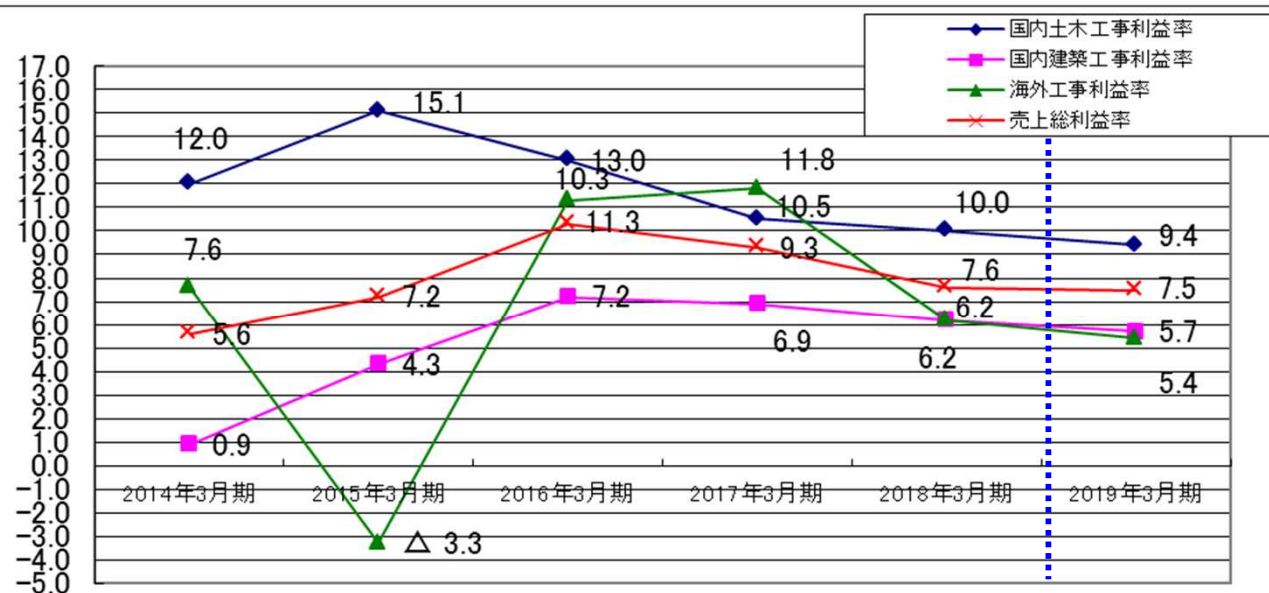
□売上高 (1,660億円、前期比 9.0%)

- 国内土木 繰越工事の増加により、前期比増。
- 国内建築 手持ち工事の順調な消化により、高水準の売上高を維持。
- 海外 早期受注により売上高を確保。

□売上損益 (124億円、前期比 6.5%)

- 国内土木 工事利益率は低下するも、売上高の増加により、前期比増。
- 国内建築 工事利益率の低下により、前期比減。
- 海外 売上高は増加するも、工事利益率の低下により、前期比減。

■過去5年の利益率の推移と2019年3月期の見通し



3-1). 2018年3月期 主な完成工事(土木)

■首都直下地震に対する耐震対策（埼玉県川口市）

工事名：芝川水門耐震対策（H25）工事

発注者：国土交通省関東地方整備局

工 期：2013年10月～2017年6月



■広島県呉市に新たな原木土場と専用岸壁を新設

工事名：中国木材株式会社呉本社工場内航バース
新設工事

発注者：中国木材（株）

工 期：2017年1月～2018年3月

3⁻²). 2018年3月期 主な完成工事(建築)

■主要国道にアクセス抜群の物流センターが完成

工事名：（仮称）U I 春日部ロジスティクスセンター
新築工事

発注者：U I 春日部特定目的会社

工 期：2017年1月～2018年2月



■静岡市に、学校給食センターが完成

工事名：静岡市立北部学校給食センター
建替整備等事業に係る建設工事

発注者：（株）静岡北部学校給食サービス

工 期：2016年5月～2018年3月

3⁻³). 2018年3月期 主な完成工事(海外)

■ ベトナムに車両のアフターサービスを強化するセンターが完成

工事名：いすゞベトナム オートケアセンター
新設工事

発注者：ISUZU VIETNAM Co., LTD.

工 期：2017年1月～2017年11月



■ シンガポールに4 kmを超えるコンテナターミナルが完成
工事名：パシルパンジャン・ターミナル建設工事
(第3期／第4期)

発注者：ピー・エス・エー・コーポレーション

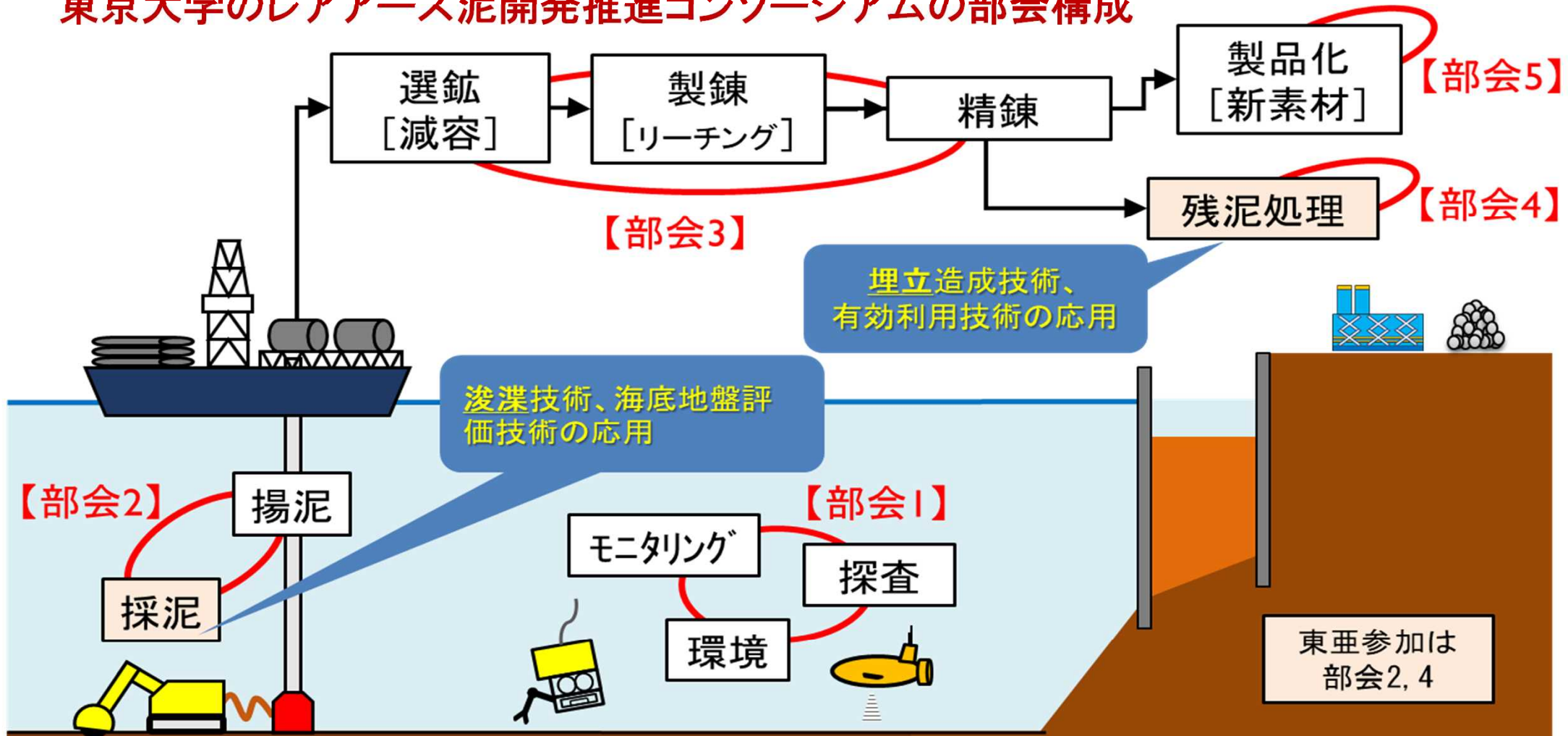
工 期：2013年11月～2017年6月

4. 2018年 3月期 主な受注工事

事業区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期(自～至)	
国内土木	平成29年度13号地新客船ふ頭岸壁建設工事(その1)	東京都	JV	2017年12月	2019年5月
	国道45号 坂ノ下地区道路改良工事	国土交通省東北地方整備局	単独	2018年1月	2020年2月
	(仮称)フジトランス コーポレーション ロジスティクスセンター造成工事	(株)フジトラン スコーポレーション	単独	2017年4月	2018年12月
	茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区廃棄物埋立護岸締切部築造工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2018年1月	2020年3月
国内建築	(仮称)アイランドシティ物流センター冷蔵庫計画	ニッスイ・エンジニアリング(株)	単独	2018年4月	2019年3月
	(仮称)ヨコレイ名港物流センター新築工事(建設工事)	横浜冷凍(株)	単独	2017年6月	2018年11月
	船越(29)宿舎B棟新設建築工事	防衛省南関東防衛局	単独	2018年3月	2020年1月
	(仮称)ホテルルートイン千葉浜野新築工事	ルートインジャパン(株)	単独	2018年1月	2019年4月
海外	ナカラ港開発事業(I)/(II)港湾施設建設工事	モザンビーク国 運輸通信省	JV	2018年7月	2021年6月
	ナミベ港改修計画	アンゴラ共和国 運輸省海事港湾局	単独	2018年3月	2019年6月

レアアース泥開発に必要な技術と当社の想定する役割

東京大学のレアアース泥開発推進コンソーシアムの部会構成



産学のメンバーが連携してレアアース泥の開発技術確立することで、レアアースの安定供給に貢献するとともに、レアアースの新たな需要開拓を通じて日本の産業を活性化することを目指す。

レアアース泥開発に関するプレスリリースについて

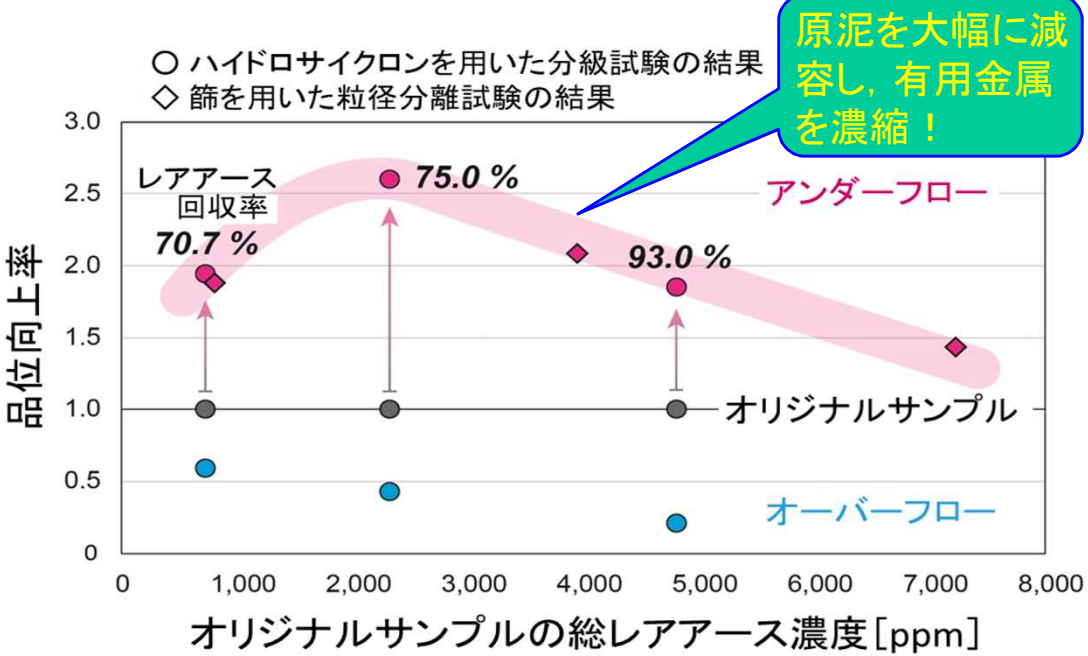
南鳥島レアアース泥の資源分布の可視化と 高効率な選鉱手法の確立に成功

2018年4月10日

早稲田大学, 東京大学, 千葉工業大学,
(国研)海洋研究開発機構, 東亜建設工業(株),
太平洋セメント(株), 東京工業大学, 神戸大学

発表のポイント

- ◆ 南鳥島周辺のEEZ内に存在するレアアース泥の資源分布を可視化して資源量を把握し, 世界需要の数百年分に相当する莫大なレアアース資源が存在することを明らかにした。
- ◆ 粒径分離によってレアアース濃集鉱物を選択的に回収する技術の確立に成功した。これにより, 中国陸上レアアース鉱床の20倍程度まで品位を向上させることが可能となった。
- ◆ 本研究の成果により, 最先端産業に必須となるレアアース資源開発の経済性が大幅に向上することが期待される。



今後のレアアース泥開発への取り組み

- ◆南鳥島近海の排他的経済水域に賦存するレアアース泥をはじめとした海洋資源開発分野は、中長期的に取り組むべきビジネス分野の一つとして期待しています。
- ◆現状においては、マリコンとして培ってきた技術の応用によって貢献できる分野でのビジネス参画を意図しています。
- ◆産業化までには困難な課題も多く、長い時間も要するものと考えていますが、我が国の建設業界にとって未開拓の分野である海底資源開発に果敢に取り組み、それにより建設需要を創造しつつ資源の安定供給に貢献し、国益に適う像を示すことが、夢のある企業として社会的責任を果たすことにもなると考えています。

■ お問い合わせ先

〒163-1031
東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー 31F
東亜建設工業 株式会社
経営企画部広報室 清水 祐治
TEL:03-6757-3821
FAX:03-6757-3830

Yes! Harmony



この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく 予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることをご承知おきください。